

# 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。  
当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

敬白

## 記

■ 実施日 2018年12月17日(月) ご依頼分より

## ■ 新規項目内容一覧

項目 コードNo.	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
3894 3	<p><b>倫理指針対象</b> <b>曜日指定</b></p> <p>マイクロサテライト 不安定性 (MSI) 検査 (リンチ症候群)</p> <p>8C986-0000-070-856</p>	未染標本 スライド 5~10枚	Z10 (t)	室温	8~14	2100 ※1	マルチプレックスPCR- フラグメント 解析		<p><b>重</b></p> <p>受託可能日は月~金曜日です。 5種類のマーカー (BAT25、BAT26、 NR21、NR24、 MONO27) について解 析し判定致します。 他項目との重複依頼は 避けてください。</p> <p>&amp;コ</p>

※1：尿・糞便等検査判断料

### 未染標本スライド材料について

未染標本スライドは、組織のホルマリン固定により核酸が断片化されているため、固定液の種類や、固定時間といった保存状況、保存年数によっては、解析不可能ことがありますので、あらかじめご了承ください。

### ●留意事項

未染標本スライドは、可能な限り3年以内に採取したサンプルにて作製しご提出ください。特に生検材料は検体が微量であることが多く、パラフィン切片上の組織片自体が僅少である場合や、腫瘍細胞が含まれていない可能性がありますので、あらかじめご注意ください。ご提出の際には、ホルマリン固定パラフィン包埋組織ブロックより厚さ5μmにて連続切片を作製ください。

作製した未染スライドは、HE染色標本により腫瘍細胞が含有されていることを確認のうえ、未染スライドの腫瘍が認められた部位へ裏面から必ずマーキングをお願いします(含有されている腫瘍は50%以上を推奨します)。マーキングされた未染標本スライドはオブジェクトケース(Z10)に入れ室温保存にてご提出ください。マーキングされていない未染スライドのまま提出されますと、偽陰性など判定結果に影響を及ぼす可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

## ● マイクロサテライト不安定性 (MSI) 検査 (リンチ症候群)

リンチ症候群の補助診断に有用な検査です。

遺伝性大腸癌の中で最も頻度が高いものとしてリンチ症候群が知られています。リンチ症候群は、常染色体優性遺伝形式をとり、ミスマッチ修復遺伝子に病的変異を有しています。ミスマッチ修復遺伝子の作用指標の1つとして、マイクロサテライト不安定性検査が有用です。

遺伝性大腸癌診療ガイドラインではリンチ症候群が疑われる患者に対して、2次スクリーニングにてマイクロサテライト不安定性検査を行うことを推奨しており、リンチ症候群の補助診断として有用な検査です。

### ▼疾患との関連

リンチ症候群

### ▼検査要項

検査項目名	<b>倫理指針対象</b> <b>曜日指定</b> マイクロサテライト不安定性 (MSI) 検査 (リンチ症候群)
項目コードNo.	3894 3
検体量	未染標本スライド 5~10枚
容器	Z10 (t) オブジェクトケース
保存方法	室温保存してください
所要日数	8~14日
検査方法	マルチプレックスPCR-フラグメント解析
基準値	
検査実施料	2100点 (「D004-2」悪性腫瘍組織検査「1-チ」)
判断料	34点 (尿・糞便等検査判断料)
備考	<b>重</b> 受託可能日は月~金曜日です。 5種類のマーカー (BAT25、BAT26、NR21、NR24、MONO27) について解析し判定致します。他項目との重複依頼は避けてください。 <span style="float: right;">&amp;ユ</span>

#### 未染標本スライド材料について

未染標本スライドは、組織のホルマリン固定により核酸が断片化されているため、固定液の種類や、固定時間といった保存状況、保存年数によっては、解析不可能ことがありますので、あらかじめご了承ください。

#### ●留意事項

未染標本スライドは、可能な限り3年以内に採取したサンプルにて作製しご提出ください。特に生検材料は検体が微量であることが多く、パラフィン切片上の組織片自体が僅少である場合や、腫瘍細胞が含まれていない可能性がありますので、あらかじめご注意願います。ご提出の際には、ホルマリン固定パラフィン包埋組織ブロックより厚さ5μmにて連続切片を作製ください。

作製した未染スライドは、HE染色標本により腫瘍細胞が含有されていることを確認のうえ、未染スライドの腫瘍が認められた部位へ裏面から必ずマーキングをお願いします (含有されている腫瘍は50%以上を推奨します)。マーキングされた未染標本スライドはオブジェクトケース (Z10) に入れ室温保存にてご提出ください。マーキングされていない未染スライドのまま提出されますと、偽陰性など判定結果に影響を及ぼす可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※年内報告可能な最終受付日は、12月17日 (月) です。

年内の最終受付日は12月28日 (金) とさせていただきます。年始は1月4日 (金) より開始いたします。

#### ●参考文献

Buhand O, et al : J Clin Oncol 24 (2) : 241~251, 2006. (検査方法参考文献)

大腸癌研究会 : 遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2016年版, 各論 II リンチ症候群 : 40~81, 2016.

(臨床的意義参考文献)